

第11回 中国・四国・九州・沖縄地区

大学図書館職員 フレッシュパーソンセミナー 講義6

# 研究支援

-オープンアクセス・オープンサイエンス-

愛媛大学図書館 上山朋子

1

1

## 大学図書館の中から見た オープンアクセス・オープンサイエンス

1. 機関リポジトリとオープンアクセス
2. 学内のDX推進とオープンアクセス方針策定
3. 研究データポリシーの策定への関わり
4. オープンアクセス加速化事業
5. まとめ・これから

2

2

# 大学図書館の中から見た オープンアクセス・オープンサイエンス

1. 機関リポジトリとオープンアクセス
2. 学内のDX推進とオープンアクセス方針策定
3. 研究データポリシーの策定への関わり
4. オープンアクセス加速化事業
5. まとめ・これから

3

3

## 1. 機関リポジトリとオープンアクセス

2000年代頃から 機関リポジトリ 運用・公開の開始

日本では千葉大学が2005年度にはじめて一般公開

- 2002年から計画開始
- 2004年に公式運用開始
- 2005年度 一般公開

.....\*1

4

4



# 1 .機関リポジトリとオープンアクセス

2000年代頃から 機関リポジトリ 運用・公開の開始

愛媛大学では・・・当初は独自構築で開始(DSpace)

- ・ 2011年に「愛媛地区共同リポジトリ」として運用開始
- ・ 2013年4月 愛媛大学機関リポジトリの公式運用・公開開始

まずは学内刊行物の登録から・・・

- ・ 各学部の紀要編集委員会へ交渉
- ・ デジタル公開できるよう投稿規定等を改正依頼

5

5

# 1 .機関リポジトリとオープンアクセス

2013年4月 学位規則の一部改正

旧条文では印刷公表とされていた 学位論文が

改正後の新条文では・・・インターネット上で公開することに

- ・ 新第九条 3 (新設)  
「～公表は、当該博士の学位を授与した大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。」 ……\*2

ちょうどその頃・・・JAIRO Cloudの運用開始

- ・ 国立情報学研究所が構築・運用し、2012年4月より正式にサービスを開始
- ・ 単独でシステムを構築または調達しなくても、機関リポジトリを運用・公開できる

比較的小規模の大学・研究機関がこの時期に多数JAIRO Cloudに参加

コレはあくまで個人的な印象で、根拠資料はありませんが・・・

……\*3

6

6

## 1. 機関リポジトリとオープンアクセス

愛媛大学の機関リポジトリは・・・当初は独自構築で開始(DSpace)

- ・ 愛媛地区の大学に公開のためのプラットフォームを提供

2018年9月の図書館システム更新時にシステム内のリポジトリ機能へ移行

- ・ システムの維持管理・新サーバへのバージョンアップを伴う移行が困難だったため  
(アクセス数履歴の移行失敗・表紙や目次が登録できない・・・等の課題も)

2023年9月の図書館システム更新時にはJAIRO Cloudへ移行することを決定

- ・ システム内リポジトリ機能が継続的に維持できるかが不透明
- ・ 共同リポジトリのシステム内運用は学外からの登録作業等が煩雑
- ・ 研究データ公開に対応出来ない
- ・ 共同リポジトリの他の参加館も、将来的なJAIRO Cloud移行の検討を開始

7

7

## 大学図書館の中から見た オープンアクセス・オープンサイエンス

### 1. 機関リポジトリとオープンアクセス

### 2. 学内のDX推進とオープンアクセス方針策定

### 3. 研究データポリシーの策定への関わり

### 4. オープンアクセス加速化事業

### 5. まとめ・これから

8

8



## 2.学内のDX推進とオープンアクセス方針策定

愛媛大学でのDX推進のため「DX推進室」を設置-令和3年度

- ・ 図書館からは図書館長がメンバーとして参加 事務課長と副課長が事務方として陪席

図書館では以下のような事案に参画

- ・ オープンアクセス・オープンサイエンスの推進
- ・ 機関リポジトリの拡充
- ・ 研究データ管理・公開・検索基盤の構築・運用
- ・ 研究DXの観点から 電子ジャーナル・データベースの購入内容を検討

9

9

## 2.学内のDX推進とオープンアクセス方針策定

「オープンアクセス方針」を年度内に制定することに

2010年代頃から検討はされていたが、制定までたどり着いていなかった

- ・ 5月中旬から館長・課長・副課長で内容の検討開始
- ・ 10月の図書館委員会で審議・原案どおり了承
- ・ 学長説明を経て全学の会議で審議 令和3(2021)年11月17日制定

10

10

## 2.学内のDX推進とオープンアクセス方針策定

並行して「ガイドライン」を検討していたが……

研究データポリシーの策定が進行中のため、その内容等にあわせて変更になる可能性があり、あえて決定はしない という判断に

- 9月から10月にかけて館長・課長・副課長で内容まとめ
- 12月の図書館委員会で審議・原案どおり了承されたが……
- 3月の図書館委員会でOA方針の「説明」として

図書館Webページへの掲載を報告

<https://opac.lib.ehime-u.ac.jp/SUPPORT/howto-repository/oapolicy>

……\*4

11

11

## 大学図書館の中から見た オープンアクセス・オープンサイエンス

- 1.機関リポジトリとオープンアクセス
- 2.学内のDX推進とオープンアクセス方針策定
- 3.研究データポリシー策定への関わり
- 4.オープンアクセス加速化事業
- 5.まとめ・これから

12

12



### 3.研究データポリシー策定への関わり

#### 愛媛大学DX推進室にて「オープンアクセス方針」は図書館で 「研究データポリシー」は学術研究会議での担当が決定

学術研究会議＝全学の学術基盤の充実を目指した研究戦略の構築等について審議する組織  
(2009年度設置/組織再編・統合により現在は同じ名称での組織ではない)

- 学術研究会議の下「研究データ管理検討WG」の設置が決定（2021/11/17）
- 教員7名・事務職員7名のメンバーのうち、図書館から2名参加
- 2022/1/20から活動開始

※「愛媛大学データポリシー」策定の詳しい経緯は以下で事例発表され、資料も公開されています

第2回東海地区 学術データ基盤セミナー(2023/7/24)

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/information/event/2023-06-30-seminar.html>

JANUL第2回研究データポリシー策定のためのワークショップ(2023/11/22)

<https://www.janul.jp/ja/news/20231204>

.....\*5

### 3.研究データポリシー策定への関わり

#### 研究データポリシー策定・公表までの経緯を簡単に

- 2021年11月にワーキンググループ設置
- 2022年1月 第1回 まずアンケートを実施することとし、内容検討・決定  
(AXIESのアンケート雛形を愛媛大学の状況に合わせ修正し、独自の設問を加えたものとした)
- 2022年6月 アンケート実施 **68%の教員から回答**
- アンケート結果・他大学ポリシー等を参考に、ポリシー(案)を分担執筆
- 2022年9月 ポリシー(案)のとりまとめ後、補足・解説(案)も作成
- 2023年1月 ポリシー(案)と補足・解説(案)が学術研究会議で承認
- 2023年2月～3月 学長説明を経て、学内各種会議でポリシー(案)の審議・承認
- 2023年4月 「愛媛大学研究データポリシー」公開

### 3.研究データポリシー策定への関わり

#### 「研究データポリシー」公表後のWGの活動

研究データの管理・公開・利活用のためには、ポリシー策定で完了ではない

- 各部局等における研究データ管理・公開等運用規定の雛形準備
- 各部局等における研究データ管理・公開等運用規定を  
作成するための「サンプル」作成
- 2024年3月 部局等の運用規定制定に向けて  
研究データポリシー講演会(学内対象)を実施

15

15

### 3.研究データポリシー策定への関わり

#### 「研究データポリシー」公表後のWGの活動

R5(2023)年度内に運用規定の雛形・「サンプル」はほぼまとまり、次年度で学内に周知し、各部局へ説明に回る予定だったが……

2023年11月「オープンアクセス加速化事業」の補正予算決定採択により、研究データの管理・公開・利活用のためのインフラやシステム整備が期待でき、学内の状況が大幅に変わる可能性があるため、各部局への説明等はいったん保留……

16

16



# 大学図書館の中から見た オープンアクセス・オープンサイエンス

1. 機関リポジトリとオープンアクセス
2. 学内のDX推進とオープンアクセス方針策定
3. 研究データポリシーの策定への関わり
4. オープンアクセス加速化事業
5. まとめ・これから

17

17

## 4. オープンアクセス加速化事業

- G7科学技術大臣コミュニケ(2023年5月)-即時オープンアクセス支援明記  
→公的資金による研究成果の管理・公開に関する体制の充実・強化が必要
- R5(2023)年11月29日 補正予算成立(100億円)
- R6(2024)年3月26日公募開始
- 2024年4月18日 意向表明締切 / 5月8日 公募締切 - 期限厳守
- 2024年5月中旬～6月下旬 審査 / 6月下旬 採択結果の通知・公表
- ※愛媛大学には2024年7月5日「採択」との連絡あり
- 2024年6月6月下旬～7月上旬 交付申請/交付決定

18

18

## 4. オープンアクセス加速化事業

愛媛大学では採択をめざし「OA加速化事業申請チーム」を起ち上げ対応  
研究支援部門・情報管理部門(メディア)・図書館の事務職員を主なメンバーに、  
研究担当理事、研究担当学長特別補佐、URAの教員も加えて検討し、申請  
採択通知後も分担して具体的なシステム導入や購入機器の選定を行った

- 研究データ管理のためのストレージを整備
- 教員データベースシステムを更新してリポジトリと連携
- アナログ媒体データのデジタル化および  
今後のデジタル化のための機器を整備
- APC(論文掲載公開料)支援

19

19

## 大学図書館の中から見た オープンアクセス・オープンサイエンス

1. 機関リポジトリとオープンアクセス
2. 学内のDX推進とオープンアクセス方針策定
3. 研究データポリシーの策定への関わり
4. オープンアクセス加速化事業
5. まとめ・これから

20

20



## 5. まとめ・これから

### ポリシー策定やOA加速化事業での整備は「準備」

実際に上手く動いていくかどうかはこれから・・・そのために愛媛大学では

- ・ 教員へのOA支援のためWebページを作成予定  
(説明のための動画・各項目の解説や問い合わせ先などを掲載)
- ・ 各部局へ研究データポリシーの実施要領について説明・策定を依頼(予定)
- ・ OA支援のための説明会を開催予定

図書館では・・・

- ・ 教員データベースの業績に登録された論文についてリポジトリ登録をお願いするメール送信等を予定

21

21

## 5. まとめ・これから

愛媛大学では、ある程度のオープンサイエンス支援の体制整備ができたが・・・

- ・ 教員は具体的に何をしなければならないのか？

先生方の疑問に答えていく・・・外部資金  
申請時やデータ管理、報告作成の手助けが  
できるように準備しておくことが必要

例えば科研費では・・・

- ・ R6(2024)年度～原則として全研究種目でDMP(研究データマネジメントプラン)作成が必要
- ・ 2024年度以降に実施する新規及び継続を含む全ての研究課題について、DMPを活用し研究データの適切な管理や利活用の促進に努める事が求められている
- ・ 論文のエビデンスとしての研究データは原則公開
- ・ その他研究開発の成果としての研究データについても可能な範囲で公開

科研費における研究データの管理・利活用について(日本学術振興会)

[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/10\\_datamanagement/](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/10_datamanagement/)

.....\*6

22

22

## 5. まとめ・これから

所属大学・組織の現状を把握しましょう(図書館がどう関わったかも含めて確認することを推奨)

- ・ オープンアクセス方針(orポリシー)と研究データ方針(orポリシー)の策定状況
- ・ 機関リポジトリの現状

教員や他の部局の職員からは ベテランも新人も担当業務も関係なく  
**「図書館の人」**

**「メタデータ って何??」「ウチのリポジトリにコレは登録できますか?」**

質問されたときに困らないよう・・・または適切な方に引き継げるよう

調査・確認・勉強しておいて損はない

- ・ オープンサイエンスの国内・海外の動向
- ・ コンピュータ・プログラム・ネットワークについての知識 ……etc.

**いろいろな研修・セミナーに参加してみましょう**

23

23

## 大学図書館の中から見た オープンアクセス・オープンサイエンス

ご清聴 ありがとうございました

24

24



第11回 中国・四国・九州・沖縄地区 大学図書館職員 フレッシュパーソンセミナー  
講義6 研究支援 ―オープンアクセス・オープンサイエンス―  
参考リンク集

■ オープンサイエンス／オープンアクセス とは

JPCOAR/サポート/リポジトリ業務を学ぶ/オープンアクセス・オープンサイエンス  
<https://jpcoar.org/support/repository-abc/#a2>

JPCOAR/サポート/リポジトリ資料集/オープンサイエンス関連の基本ドキュメント  
<https://jpcoar.org/support/resources/os-resource/>

■ スライド中に内容・数値等を引用した資料・参照を推奨する資料

＊1(スライド4)

平成18年度大学図書館職員講習会 (現：大学図書館職員短期研修)  
カリキュラム及び講義資料  
<https://contents.nii.ac.jp/hrd/librarian/2006/result>

＊2(スライド6)

学位規則の一部を改正する省令の施行について  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/daigakuin/detail/1331790.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakuin/detail/1331790.htm)

＊3(スライド6)

機関リポジトリ公開数とコンテンツ数の推移  
<https://www.nii.ac.jp/irp/archive/statistic/>

＊4(スライド11)

愛媛大学オープンアクセス方針(図書館サイトのWebページ)  
<https://opac.lib.ehime-u.ac.jp/SUPPORT/howto-repository/oapolicy>

＊5(スライド13)「愛媛大学研究データポリシー」策定の経緯

第2回東海地区 学術データ基盤セミナー(2023/7/24)  
<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/information/event/2023-06-30-seminar.html>  
JANUL第2回研究データポリシー策定のためのワークショップ(2023/11/22)  
<https://www.janul.jp/ja/news/20231204>

＊6(スライド22)

科研費における研究データの管理・利活用について(日本学術振興会)  
[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/10\\_datamanagement/](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/10_datamanagement/)

■ セミナーや研修に参加してみよう(まだまだたくさんありますが……取りあえず)

第4回オープンアクセス加速化事業におけるNIIの開発内容を説明する会  
<https://rcos.nii.ac.jp/OpenAccessNii20250925/>

ジャパン・オープンサイエンス・サミット (Japan Open Science Summit) 例年6月開催  
<https://joss.rcos.nii.ac.jp/>